

友好の輪

日野町国際親善協会 広報

Hino International Goodwill Association

「日野の味覚市」で外国の料理を販売

11月27日(日)、日野まちかど感応館で開催された「第36回日野の味覚市」で、国際交流を目的に町内に住むジャマイカ国籍の住民と一緒に調理をし、販売しました。

ジャマイカのソウルフードである、揚げ物料理「フリッター」の作り方やジャマイカの文化など教えていただきながら、楽しく調理、販売をしました。

当日は、多くのお客さんでにぎわい、販売していたジャマイカ国籍の住民は「一度にこれだけたくさんの方と交流することが今までなかったのととても楽しい」と話されました。



渡来の歴史と文化を訪ねる研修会を開催

12月7日(水)、文化の継承、国際交流に対する意識の向上を図ることを目的に渡来の歴史と文化を訪ねる研修会を開催しました。

今回は長浜市の雨森芳洲庵、渡岸寺、高月観音の里、長浜城歴史博物館を訪問し、町内外から14人の参加がありました。

江戸時代の日本と朝鮮との友好的な関係や今の時代にも通ずる雨森芳洲先生の多文化共生に対する考え方等を学び、有意義な研修会となりました。



鬼室神社の看板を建て替えました

12月9日(金)、百済からの渡来人である鬼室集斯きしつしゅうしが祀られている鬼室神社(小野地区)にある案内看板を建て替えました。

看板は、より多くの方に鬼室神社について知ってもらえるよう、日本語、韓国語、英語の3か国語で表記されました。

鬼室神社へお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



多文化共生講演会

「共に生きる社会を目指して

～さあ、対話の冒険へ～」を開催

2月17日(金)、わたむきホール虹にて多文化共生社会や町の人権学習の推進を目的として、「多文化共生講演会」を開催しました。

講師には、京都コリアン生活センターエルファ事務局長の南珣賢なんすんひん氏をお迎えし、講演いただきました。

講演会には57人が参加され、日本で生活する在日コリアンがどんな歴史を歩んできたか、また、南氏が活動してきた中で印象深かった話などをまじえながら、多文化共生につながる話をされました。

国籍や文化の違いと向き合い、同じ人として、興味をもって関われば、理解し合うことはできると話され、多文化共生について考えるきっかけとなりました。



2023年3月 「友好の輪」

発行：日野町国際親善協会

事務局：日野町役場企画振興課(秘書広報担当)

TEL 0748-52-6550

FAX 0748-52-2043

「やさしい日本語」にほんごを使ってみよう!

「やさしい日本語」って何?

日本語に慣れていない外国人の方など、誰にでもわかりやすい簡単な日本語のことです。

どうして「やさしい日本語」なの?

外国人に
わかりやすい!

簡単な日本語であれば理解できるという外国人は多いので、「やさしい日本語」ならコミュニケーションすることができます。

日本人にも
わかりやすい!

ポイントを押さえれば、だれでも使うことができます。また、日本人にとってもわかりやすいコミュニケーション手段の一つです。

「やさしい日本語」を使うためのポイント

◇簡単な言葉を使う

例) 土足厳禁 ⇒ くつをぬいでください。

◇時間は 12 時間で表す

例) 21 時 30 分 ⇒ 午後9時30分

◇文は文節で余白をあけて区切る

例) 今朝、強い地震がありました。 ⇒ 今朝の朝 大きい地震がありました。

※災害時によく使われることばなど、知っておいたほうが良いことばは

そのまま使い、ことばの後に〈 〉を使い言いかえる

例) 「消防車」 ⇒ 消防車 〈火を 消す 車〉

「避難所」 ⇒ 避難所 〈みんなが 逃げる ところ〉

◇文末表現はなるべく統一する

例) 火を使えます ⇒ 火を 使うことが できます

手を洗いましょう ⇒ 手を 洗って ください



「やさしい日本語」を
つかってみよう

